

歴史と文化を支える子どもたち

—「日本のはじまり奈良」から伝える 平和のメッセージ—

■期 日 2010年 7月25日(日)
■会 場 平城宮跡まほろばステージ



13:00 受付開始

13:30 オープニング まつぼっくり少年少女合唱団

挨拶

●(財)日本ユニセフ協会奈良県支部会長	永 田 正 利
●(財)日本ユニセフ協会専務理事	早 水 研
●奈良県知事	荒 井 正 吾
●奈良市長	仲 川 げ ん

ビデオメッセージ 日本ユニセフ協会大使 アグネス・チャン

講演 「遊ばせていただける有難さ」

元興寺住職 辻 村 泰 善

演奏 まつぼっくり少年少女合唱団

主宰 荒 井 敦 子

エンディング 大合唱

会場の皆さん

14:50 終了

(司会：都築由美)

尚、終日(9:00~17:30)、隣接する「交流ホール」においては、ユニセフ写真展、ビデオ、体験ボックス、三碓小学校児童の学習展示、ユニセフカードとギフトの取扱などを行います。

主催／(財)日本ユニセフ協会奈良県支部

共催／平城遷都1300年祭事業協会

unite for
children

unicef 

ユニセフ（国連児童基金）の活動の広がりを求めて設立された（財）日本ユニセフ協会奈良県支部は、皆様のご支援のお陰で、このほど 10 周年を迎えました。世界の子どもたちの生きる幸せを支え、また、私たち自身の意識を高めるために、奈良から活動をさらに充実させるべく決意を新たにしております。

本年は平城遷都から 1300 年。平城人が国境を越えた交流を展開したように、現代に生きる私たち一人ひとりが世界を視野に入れながら、「子どもが存分に力を発揮する社会」について、考えていただける機会になればと思います。

メッセージ

奈良県知事 （財）日本ユニセフ協会奈良県支部顧問 **荒井正吾**

財団法人日本ユニセフ協会奈良県支部設立 10 周年を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。

子どもたちの基本的権利を守るために人道支援を行うユニセフのサポーターとして、広報・啓発活動や募金活動に積極的に取り組まれている関係者の皆様に深く敬意を表します。

平城遷都 1300 年祭のメイン会場で開催される 10 周年記念行事が、奈良から世界の子どもたちへのエールを届ける好機となりますよう祈念申し上げます。



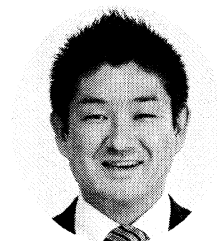
奈良市長 **仲川げん**

奈良県支部の創立 10 周年を心からお喜び申し上げます。

国際文化観光都市一奈良は、非核平和都市宣言都市でもあり、世界に向けて平和のメッセージを発信する都市でもあります。

その奈良の地で、続けていただいている地道な活動が、少しでも世界平和と子どもたちの支援につながることを願ってやみません。

奈良県支部のますますのご発展と関係皆様のご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



（財）日本ユニセフ協会会長 **赤松良子**

財団法人日本ユニセフ協会奈良県支部設立 10 周年をお祝い申し上げます。

「平城遷都 1300 年祭」の会場にて設立 10 周年の記念行事が開催されますことは、ひとえに奈良県の皆さまのユニセフへの温かいご理解の賜物と心より感謝を申し上げます。

ユニセフは、「子どもの権利条約」が定める子どもの基本的人権の実現を使命とし、全ての子どもたちが、その権利を享受できることを目標に活動を続けております。

この活動にご支援を賜りました関係各位に心よりの感謝を申し上げると共に、皆様のご健勝とご発展を祈念し、祝辞とさせていただきます。



（財）日本ユニセフ協会奈良県支部会長 **永田正利**

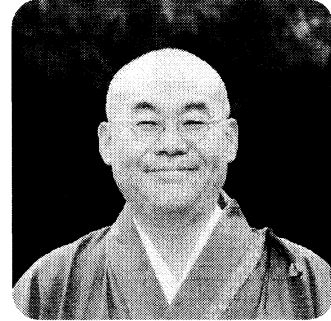
（財）日本ユニセフ協会奈良県支部が 2001 年 1 月 21 日に設立されてから 10 年目に入りました。奇しくも平城遷都 1300 年を迎える年に、平城宮跡の中心会場で設立 10 周年記念行事を開催できますことを心から嬉しく思っております。県支部をここまで育ててくださった皆様のご支援、ご理解に深くお礼申し上げます。混沌とした世界情勢、自然災害の頻発。世界の子どもたちに将来どのような社会を準備することができるか、また、私たちが今後とも果たすべき役割を、今日の会合がそれを考えるきっかけになればと願っております。



講 演

「遊ばせていただく有難さ」

元興寺住職 辻村 泰 善



昭和 27 年 奈良生まれ。
 昭和 42 年 元興寺辻村泰圓僧正の徒弟として得度。
 昭和 51 年 関西学院大学文学部美学科卒業。
 昭和 52 年 奈良国立博物館学芸課研修生を終了。
 昭和 56 年 真言律宗大乘滝寺（生駒市）住職。
 昭和 61 年 真言律宗元興寺住職。
 平成 3 年 （財）元興寺文化財研究所理事長就任。

現在、元興寺住職、（財）元興寺文化財研究所理事長、（社）宝山寺福祉事業団評議員、（財）ならまち振興財団理事、種智院大学・関西学院大学非常勤講師、独立行政法人国立文化財機構運営委員、ボイスカウト奈良県連盟わかさ地区協議会会長など、その他多数の役職。

なお、当日本ユニセフ協会奈良県支部設立時からの評議員。

演 奏

まつぼっくり少年少女合唱団

主 宰 荒 井 敦 子



ピアノ
 大 山 理 保
 ベース
 原 満 章
 ドラムス
 富 永 千 尋

1982 年荒井敦子指導のもと結成。大和の山村で、わらべうたの交流・発掘・普及活動を行い、ニューヨーク国連本部や、（財）日本ユニセフ協会の記念式典では皇太子殿下ご臨席のもと出演。2005 年『愛・地球博』メッセージソングをサックス奏者渡辺貞夫氏と録音、舞台に数多く出演。2007 年オリジナルミュージカル「森に生かされて」を公演、好評を博す。今年は平城遷都 1300 年関連行事に出演。平和のメッセージを子ども達の歌声に託し、活動している。

なお、荒井敦子氏は当奈良県支部設立時からの常務理事。

～×モ～

*ユニセフ（国際連合児童基金）は、第二次世界大戦の傷跡を生き延びようとしていたヨーロッパやアジアの子どもたちを助けるために、昭和 21（1946）年に創設された国連機関です。日本の子どもたちも、昭和 24（1949）年から東京オリンピックが開催された昭和 39（1964）年までの 15 年間、学校給食での脱脂粉乳など、当時の金額で 65 億円もの援助をユニセフから受けました。現在、150 以上の国と地域の 0～18 歳の子どもたちの生存と健やかな発達の権利を守るため、健康、教育などの支援事業に重点を置きながら、戦争や天災に遭った子どもたちの緊急支援にも取り組んでいます。昭和 40（1965）年には「ノーベル平和賞」を受賞しました。

*ユニセフの活動を支えているのは、各国の政府と民間の協力です。36ヶ国に置かれているユニセフ国内委員会が、活動に対する理解を深め、支援を拡大するよう力を傾けています。日本では、ユニセフを代表する国内委員会として、昭和 30（1955）年に、日本ユニセフ協会が創立され、今年で 55 周年を迎えました。

*奈良県においては、28 年前の昭和 57（1982）年に、奈良市西登美ヶ丘の P T A 仲間 10 人ほどで始まったユニセフ支援の小さな活動が発展し、平成 4（1992）年に、「西奈良ユニセフグループ」から「日本ユニセフ協会西奈良友の会」になり、さらに平成 13（2001）年 1 月 21 日に関西初の県単位組織として、「日本ユニセフ協会奈良県支部」が設立されました。奈良市東向北町に事務所を開き、支部役員約 60 名、事務所ボランティア約 40 名、県各地の協力者の皆様と一緒に、ユニセフを通して子どもたちに思いを馳せ、支援し続けています。

（財）日本ユニセフ協会会員募集中

ユニセフの会員として、仲間になりませんか

皆様からの年会費が協会とボランティアの活動を支え、新しい理解者を増やし、世界の子どもたちの命と健康を守るためのより大きな支援へと広がります。

- | | | |
|-------|-----|-----------|
| ●一般会費 | 1 口 | 5,000 円／年 |
| ●学生会費 | 1 口 | 2,000 円／年 |
| ●団体会費 | 1 口 | 10 万円／年 |

会員申し込み、募金、ボランティア・イベントへの参加、ユニセフカード・ギフトの購入、資料の依頼、ビデオなどの貸し出し、出前学習会の依頼、外国コインの提供、その他お問い合わせは、下記までどうぞ。

（財）日本ユニセフ協会奈良県支部	〒630-8214	奈良市東向北町 21-1	松山ビル 3 階
	TEL 0742-25-3005	FAX 0742-25-3008	
	（受付時間／月・水・木曜日 11：00～15：00）		